

教育広報

かけはし

創刊号 平成3年7月5日発行

発行 千代田区教育委員会



パウロ中のみなさんこんにちは
(区役所前ピロティにて)

主
な
記
事

◆教育広報「かけはし」発刊にあたって

◆きょういく よもやま話

— パウロ中のみなさん 千代田へ —

◆和気あいあい 日本語学級

◆校外施設だより

— スポーツテスト・花小金井学園から —

*教育広報「かけはし」は資源保護
のため再生紙を使用しています。

教育広報「かけはし」発刊にあたって



千代田区長

木村 茂

千代田の教育は、地域の皆様方のあつご支援を受け、輝かしい伝統に支えられ、発展してきています。

しかしながら、昨今のわが国社会の急激な変化と児童・生徒数の減少は、この素晴らしい千代田の教育にも、少なからずマイナスの影響を与えています。この千代田の教育を、末永く受けついでいくためには、保護者の皆様と私も行政が手を携えていくことが肝要です。

したがって、これからの社会の大きな変化に対応し、学校教育を含めた生涯学習施策を、皆様とともに展開していかなばなりません。

このため、このたび教育委員会から、地域の皆様方とのコミュニケーションを図るための手だてとして教育広報紙を発行することとなりました。保護者の皆様をはじめ、地域の方々に末永く愛され親しまれますようお願いしています。

教育委員長 小林 泰而

社会が大きく変化している今、教育委員会は地域の教育行政全般に関し責任を負う機関として、生涯学習体系への移行を目指しつつ、地域社会全体の教育・文化・スポーツなどの推進を積極的にはかっていく必要があると認識しております。

また、学校教育をめぐる諸問題や児童・生徒の活動状況、その他教育行政の現状等の情報を皆様に提供し、ともに考え、ともに実践してまいりたいと考えております。

今回、教育委員会が発行する教育広報「かけはし」は、まさに教育委員会と地域・住民・PTA・学校との情報の架け橋としての役割を果たすものであります。ご高覧の上ご意見をいただき、皆様の広報紙として育てていただけるよう心からお願いたします。

教育長 井澤 一弘

保護者をはじめ関係者の皆様には、日ごろから千代田区の教育の発展に絶大なるご支援をいただき厚く御礼を申し上げます。

近年教育を取り巻く環境は厳しさを増しております。教育委員会といえども、社会の変化や時代の要求に積極的かつ主体的に対応しつつ、千代田らしい特色ある教育を展開していきたいと思っております。

このたび保護者の皆様と教育委員会との情報の交流をはかり、なおかつその相互理解を深めていくことを願って、教育広報紙を「かけはし」と名づけ発刊することになりました。ぜひともご意見・ご感想をお寄せいただき、両者を結ぶ「きづな」として皆様とともに育て、有効に活用していきたいと思っております。よろしくお願いたします。

教育委員 紹介

教育委員会は、地域の「学校教育」、「社会教育」などについて責任を負う合議制の機関です。

教育委員は五名で、区議会の同意を得て区長が任命。毎月二回会議を開き、重要事項を審議、社会の変化や新たなニーズに適切に対応しながら、生き生きとした特色ある施策を展開できるよう、努力を重ねています。

メンバーは次のとおりです。

教育委員長 小林 泰而
委員長職務代理者 藤井 康男
教育委員 横山 安宏
教育委員 栗岩 英雄
教育委員(教育長) 井澤 一弘



平成3年度 教育目標

千代田区教育委員会は、教育基本法に即し、「教育と文化のまち千代田区宣言」の趣旨を踏まえ、来るべき21世紀にむけて千代田区の教育の歴史と伝統を継承・発展させ、心身ともに健康で千代田に誇りと愛着を持つ人間性豊かな区民の育成を目指し、区民が生涯を通じて主体的に学ぶことができる諸条件を整備し、もって、個性豊かな文化の創造・発展と豊かな千代田区の形成に貢献することを期して、本区の教育を推進する。

学校 教育委員会プロフィール

予 算

今年度の教育予算は

六八億七、四五九万円

(区的一般会計予算の約19%)

平成三年度予算の主な内容について、新規・レベルアップ事業を中心にいくつか紹介します。

○小・中学校校舎等改修

一五億六、五七七万円

○軽井沢少年自然の家第2期整備

四億八〇一万円

既存施設の隣地に余暇・研修など多目的な機能をもつ施設を建設します。平成五年春オープン予定です。

○ふれあい給食

百六〇万円

小学生と地域の高齢者や、日頃お世話になっている方々とのふれあいをはかります。

○新学習指導要領による教材整備

四、六二〇万円

○コンピュータ活用による教育推進 一億一、九〇六万円

○区内在住・在勤外国人向け 日本語学級の開設(記事六面) 二〇九万円

なお、この教育広報紙も今年度からの新規事業です。

職 員

教育委員会事務局は、教育長をキヤップに、庶務課、学務課、指導室、生涯学習振興課、スポーツ振興課、千代田図書館、教育研究所からなっています。

また学校関係の職員は、教員・学校事務・用務・学童擁護・給食関係などといういろいろな人々からなっており、全員が一丸となって、よりよい教育環境づくりに努力しています。

千代田区の各学校では、21世紀の社会を担う心の豊かな人間を育成するため、創意・工夫を生かし、特色ある教育活動を行っています。

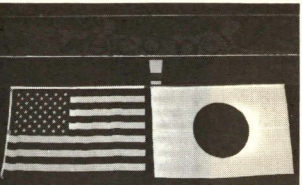
とくに千代田区は、文部省より「帰国児童・生徒受け入れ推進地域」の指定を受け、また、子どもたちの豊かな国際感覚を育てるよう、国際理解教育に力を入れています。

平成3年5月現在

	設置数	学級数	在籍者数
幼稚園	14園	49 ^{学級}	597 ^人
小学校	14校	137 ⁽⁵⁾	3785 ⁽¹⁸⁾
中学校	5校	78 ⁽¹⁾	2864 ⁽⁴⁾

() 内は特殊学級 [外書き]





パウロ中のみなさん 千代田へ

五月晴れの空のもと、ニューヨーク・スタテン島のパウロ中学校生徒10名が、ブレナン教育委員長、サロソ、ウォルシュ先生の引率で千代田区を訪れました。今年で四回目を迎えるこの交流事業は、国際理解教育の一環として行なわれています。互いに生徒を派遣し、学校の授業や家庭生活を実際に体験してもらうものです。パウロ中学校の生徒は、各校における交流授業・交流レセプションあるいは史跡見学旅行などで千代田区の生徒との友好を大いに深めました。すっかり日本が気に入られた御様子の先生方と井澤教育長に、思いつくままに印象に残ったことなどを話していただきました。

学習態度みて感心

井澤 パウロ中学校との交流は今年で四回目になりますが、ブレナン先生は今回初めて日本に来られ、日本の子どもたちをご覧になつての印象はいかがですか。

ブレナン そうですね。いちばん印象的だったのは、しつけが良く行き届いていて、子どもたちが勉強と遊びの区別をきちんとわきまえていることです。授業中は、先生の話を熱心に聞いています。しかし、休み時間になると元気な声を出し、校庭でとても楽しそうに遊んでいる姿がみられます。そのことがとても印象に残りました。



ブレナン教育委員長

制服はないけれど



井澤 教育長

井澤 私は三年前にニューヨークにお伺いしましたが、パウロ中学では生徒の服装などは非常に自由な雰囲気である反面、規律がしっかりしている。これにはとても感心しましたね。先生方は服装とか規律についてどのような考えをお持ちでしょうか。

ブレナン パウロ中学には制服はありませんが、自分で判断して学校にふさわしい服装をしてくるよう、子どもたちには指導しています。学校を卒業して社会に出れば、自分自身の判断でその場に応じた服装をすることが求められます。その判断力を

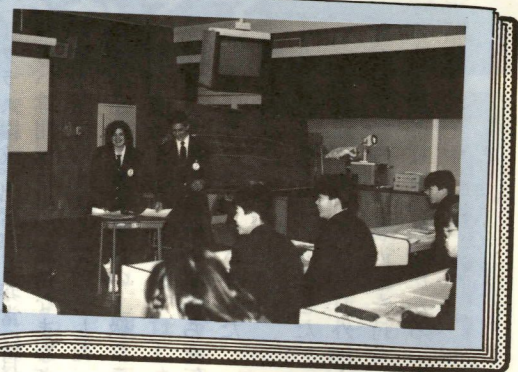
個性を伸ばす教育

井澤 アメリカの教育においては、子どもの個性を大切にされているそうですね。日本でも、近年子どもの個性を積極的に伸ばす方向で教育改革を進めているところですね。そこで、子どもの個性を生かす教育について、何か参考になることがあったらお聞かせいただきたいのですが。

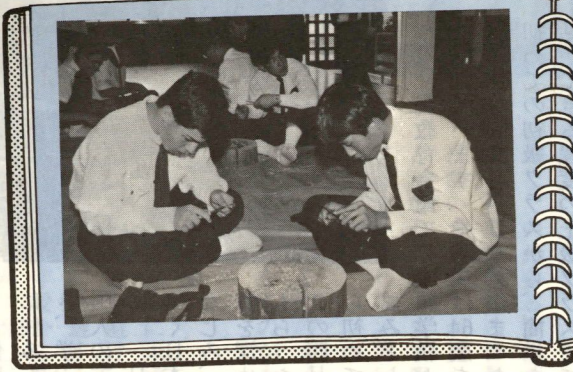
ブレナン とはいっても、子どもに創造性をもたせることは難しいことですね。個性の伸びる時期は、子どもによつてまちまちですからね。

ウォルシュ パウロ中学では、一人一人の能力にあつた時間割をつくっています。得意科目については、実際の学年より上のランクの授業を受

きょういへ よもやま話



LL教室で本場の発音を披露



婦恋村で竹とんぼの実習

けることができるようになっていきます。この時間割は、学期ごとに作り直されます。苦手科目についても、がんばれば次の学期には上のクラスに進めるのです。時間割づくりは教師にとって大変な作業ですが、アメリカの高校ではすべてこういうシステムになっています。パウロ中学では、中学の段階でもこの方式をとっています。一人一人の進度にあわせて指導することによって、子どもの個性を伸ばすことに努めています。



ウォルシュ先生

井澤 なるほど、そうですね。それでは、実際の授業の進め方の中ではどのような配慮をされていますか。

サロソ 私が受け持っている「日本文化」の授業では、まず子どもにあるテーマを与え、自分の好きな本を選んで読んでもらいます。そしてその内容を自分の好きな方法で表現し、みんなの前で発表してもら

っています。

井澤 自分の好きな方法で……というところ？

サロソ 教師が一方的な方法で進めていくのではなく、子ども自身に自分の得意な方法を選択させて表現させるのです。例えば文章が苦手な子どもに対しては、図や表あるいは



サロソ先生

は絵を描いて表現するよう積極的に指導しています。子ども一人一人の得意・不得意分野を見きわめ、持てる力を最大限に生かして、なんとか自分の力で上手に表現できるように導くのです。子どもの興味を生かし、得意な分野を最大限に伸ばす、これこそ個性を伸ばす教育だと思います。

今後も交流の輪を

ブレナン 話は変わりますが、文法などのように必ず教えねばならない基本的なこと他に、時代の流れと

養つてあげるのも学校教育の役目だと思います。私たちは、学校というのは勉強だけを教える所ではないと考えています。服装はあくまでも一例ですが、立派な社会人として生きるための基礎づくりをすることが私たちの使命であると考えています。

井澤 ぜひよろしくお願いします。今後の教育を考えていく上で、今日のお話はとても有意義だったと思います。先生方お疲れのところどうもありがとうございました。





千代田区に住み、働き、学ぶ外国人の方々に、一日も早く日本になじみ、理解を深めてもらうため、この四月から初めての試みとして、

九段社会教育会館で日本語学級が開設されています。受講生は64歳を最高に16か国35名。日本語がまったく初めての初級クラスから、簡単な会話ができる程度の上級クラスまでの3クラス編成。出席率も非常に良く、明るい雰囲気の中、真剣なまなざしで日本語に取り組んでいました。

香港から来日六年目の上級クラスの受講生は、

「最近ようやく自分の気持ちを伝えられるようになってきました。いつも楽しみです。」

と、目を輝かせていました。

この講座によって、在日外国人のみなさんが日本に親近感を持ち、ますます国際交流の輪が広がることを願っています。

校外施設だより 花小金井学園



スポーツテストにみる
千代田区の子ども

千代田区からスクー
ルバスで一時間余り、
武蔵野の緑あふれる小
平市に千代田区立花小
金井学園があります。

この学園の1万2千
㎡に及ぶグラウンド
は、区内の少年野球等
に利用されるほか、毎
年五月から六月にかけ
て小学校五・六年生の
スポーツテストの会場
として使われています。

子どもたちは、「芝生
が気持ちいい」とって
も広くて、ころんでも
痛くないから思い切り



の子どもた
ちにくらべ、
カーブを走
るのは得意
で小回りが
きくけれど、
直線を走る
のは苦手」
（体育科の
先生）とい
う傾向があ

走れる」と大喜び。でも自分の番が来ると、真剣な表情で50m走、走り幅とび、ソフトボール投げ、斜め懸垂等のテストを受けていました。

ところで、千代田区の子どもたちの運動能力はどうなのでしょう。昨年度の小学校五年生のスポーツテストの結果の一部をご紹介します。

〈50m走〉区平均 都平均

男子	九・三秒	九・二秒
女子	九・四秒	九・三秒

〈走り幅とび〉

男子	二八三・一cm	二八五・一cm
女子	二五六・六cm	二五八・七cm

都心の学校で校庭が狭いということも要因となっているのでしょうか、残念ながらいずれも都全体の平均より若干下回っています。



るそうです。日頃直線距離を力一杯走るといふ経験が不足しているからなのでしょう。

こんな子どもたちをいつもあたたかい眼で見守って下さっているのが、管理人の雨宮さんです。

「最近の子どもたちは、きちんと挨拶ができるようになり、とてもマナーが良くなりましたね。先日ある学校の子どもたちが、スポーツテストのあと一生懸命にグラウンドの小石を拾ってくれているのを見ました。自分たちのグラウンドなんだという気持ちで、愛着を持って大切に使用してくれている姿を見て、非常にうれしく思いました。」

と、笑顔で話して下さいました。

「小学校の時は、親のいうことも聞く素直ないい子で成績も良い方でした。中一の後半から家の手伝いや勉強をしなくなり、学校へ行くのもしぶるようになりました。一年生の五月連休からは登校しなくなってしまうました。本人がいやがっているつもりでも無理にでも親が学校へ連れていった方がいいのでしょうか。」

（中一 母親からの相談）

幼稚園や小学校低学年の段階、あるいは欠席がはじまった初期の段階では、親と担任がよく連絡をとりながら、半ば強制することによって、学校に行くようになった例はあります。

しかし、いわゆる学校がいによる長期欠席等の背景には、根深い「葛藤」が見られることが多いので、まず原因に対するカウンセリングが必要となります。

登校をいやがる子のタイプには、次のようなものがあります。

○「甘やかされ型」
社会的・情緒的に未成熟で困難や失敗を避け、安全な家庭内に逃避するタイプで、小学校から断続的に欠席を繰り返し、中

学・高校と次第に長期に学校を休むようになるもの。

○「無気力型」
学習意欲に乏しい、授業がわからないなどから、時おり学校を休むようになるもの。

○「優等生の息切れ型」

親からの心理的独立の挫折、自己の葛藤などにより、小学校まで何の心配もなかった子が、中学、高校に入ってから急に発現する。

○「非行型」

学校や家庭に適応できず非行グループに入り、学校を休むもの。

○「積極的・意図的なもの」

学校に行く意味を認めず、自分の好きな方向を選んで学校を離れるもの。

○「過性のもの」

客観的に明らかに原因があり、それを解消すると登校するようになるもの。

その原因は、本人の性格、家庭環境、学校内で起こるストレス、さらにこれらが複雑にからみ合っている場合などさまざまです。

ですから解決を急ぎ、むりやり登校させようとしますと、子どもの不安を助長させ、情緒不安定をひき起し、「とじこもり」「家庭内暴力」「心気症状」など、問題をこじらせてしまう場合があります。

なによりもまず、子どものいい分や訴えを、時間をかけて十分に聞くことが大切です。そして、学校へ行けなくなった原因が何であるか具体的に把握し、子どもの悩みを受容的に受止め、子どもと一緒に考えて考え、解決のため協力してあげることが大切です。欠席が長くなればなるほど解決もそれだけ長くなりま

す。あせらず慎重に対処することが必要です。同時に、担任教師と連絡をとり話し合うことも重要です。こうしたことは、とかく「他人ごと」と思われがちですが、どの子にも起こりうること。お互い気を配りあい

学校栄養士さんの ワンポイントアドバイス

夏休みをひかえ、子どもたちが家庭ですごす時間がふえるわけですが、何か食生活の面でのアドバイスをおねがいいたします。

いろいろありますが、たとえばスナック菓子や炭酸飲料のとりすぎには注意していただきたいです。

スナック菓子は油で揚げたものが多く、高カロリーなので一時的な満腹感は得られますが、発育期の子どもに必要な栄養はあまり含まれていません。また、炭酸飲料は糖分が少なくない上に、胃を刺激して食欲を低下させたりします。ですからスナック菓子と炭酸飲料でおなかをいっぱいにしてしまうことは、きちんとした食事の妨げになってしまふばかりでなく、身体を形成する時期の子ども健康をそこなうおそれもあります。大切な発育期にある子どもたちの食生活について、ご家庭でも十分にご配慮いただき、元気に夏休みをすごしてほしいものです。

本校には専門の相談機関があります。内神田にある教育研究所教育相談部（☎三二五六一八四〇）にお気軽にご相談下さい。秘密は守ります。

きょういく随想

趣味を伺うとその人の人柄が想像できるものだ。趣味とは、それによって安らぎを求め、生き甲斐を感じるものであつて、金銭的には利益どころか赤字になるものである。その種類は千差万別であるが、大部分は学校の教科に結びつくものである。例えば、和歌や読書は国語に、パズルは数学に、仏像鑑賞は美術にという具合である。

教科に直接結びつかないものもある。映画・テレビなどの鑑賞は静的だが、スカイダイビングや、オートバイの操縦など身の危険を伴うもの、さらに広げれば、単純な飲酒・ギャンブル、果ては公序良俗に反するものまで含まれる。

このように趣味は複雑多岐であるが、御本人の人生を裏から支えていることになる。

もう一つ、ゲームがある。コンピュータゲームのように独りで楽しむものと、将棋のように相手の必要なものとがある。どちらも勝った時の楽しさと、負けた時の悔しさがある。勝っても負けてもさらにノメリコムことになる。

私はダイヤモンドゲームのような簡単なものは勿論、トランプゲーム・オセロ・麻雀・将棋・チェス・中国将棋・連珠・囲碁というようならゆるゲームを楽しんできた。ゲーム人口の最も多いのは中国将棋だそうだが、奥行き深さという点から考

ご趣味は？

教育委員長

小林 泰而



えると、私は囲碁の右に出るゲームはないと思う。それはルールが簡潔だから奥が深いのだと思われる。ゲームの効用もある。ゲーム中は思考・推測の連続である。負けた時の悔しさは忍耐力を養うし、勝った時には惻隱の情を培ってくれるもの

だ。従つてあなたがち「ゲームは勉強の敵」と決めつけてはいけない。

さらに、囲碁・将棋では部分が全体に及ぼす影響を考えながら、全体の中での部分の変化を予測しなければならぬ。このような洞察力の涵養も大きな効用といえる。

余暇の増加や家事労働時間の短縮さらには平均寿命の伸びなどにより、自由時間がふえつつあるとか。

生涯学習の時代——とまでは言わなくても、せつかくの「ゆとり」、趣味に親しめばそれだけ興味の対象も広がり、交友の輪も広がる。人生の充実感も増してくるというもの。

日本人は自由時間の使い方を知らないという評価も耳にしますが、無為に過ごしてしまうのは勿体ないと思いませんか。

ちなみに、私が今熱心なもののひとつは、テーブルセンターなどのリース編み。「えい」という顔をされることもあるが、これも好きずき。

さて、あなたの御趣味は？

こばやし たいじ

昭和59年から教育委員

現教育委員長 内科医

編集後記

◆中学生の国際交流事業もすっかり定着した感があります。パウロ中学の生徒を中心に自然と人の輪ができて、たちまちくりひろげられる歓声と笑いの交歓風景。たとえカタコトであっても、言葉の壁をこえて自分の気持ちを相手に伝えられたときの喜びはひとしおでしょう。

自分の可能性を試し、伸ばしていく中に真の喜びを見いだす。生涯学習の時代を迎え、子どもたちにとってこの体験はかけがえのない心の財産となることでしょう。

◆この教育広報「かけはし」は、皆様に教育委員会を身近に感じていただくよう、できるだけわかりやすい文章で、親しみやすい紙面にすることを心がけて編集しています。ご意見・ご感想がございましたら、ぜひお寄せ下さい。皆様の声をお待ちしております。

教育広報「かけはし」創刊号

平成3年7月5日発行

編集発行／千代田区教育委員会

〒112 千代田区九段南1-6-11

☎(3264)0151 内414

きょういく随想